

事業所における自己評価結果(公表)

公表:

令和2年3月3日

事業所名

児童デイサービス 十彩

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		空間を分け動くスペースと静かに過ごすことが多くスペースを作っています。	今後も継続致します。
	②	職員の配置数は適切である	○		基準値の職員配置は行っています。	人員配置は適切に行い、児童発達支援管理責任者、児童指導員を配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		一般家屋の為、バリアフリー化は行えていませんがトイレには手すりの配慮をしています。	現在必要な児童はいないも必要な児童が利用の際には考慮致します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月のカンファレンスを行っています。	今後も継続致します。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者に評価表の実施を行っています。	職員全員で検討を行い改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者に評価表を実施を行いホームページに公表します。	保護者がいつでも閲覧できるように玄関に掲示ご家族様にも閲覧ができる旨のお知らせを配布いたします。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している		○	第三者による評価は行っていません。	今後は検討していくも、現在は予定していません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修を行い記録に残しています。	今後も継続を行いますが研修内容の充実が必要です。
適切	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		6ヶ月以内に1度のモニタリングを行っています。	今後も保護者のニーズに沿って支援内容を検討、個別支援計画書に反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		状況に応じて標準化されたアセスメントシートを使用しています。	今後も継続を行います。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合い活動内容の立案を行っています。	今後も継続を行います。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動に変化を持たせたプログラムを作成し、実施しています。	今後も継続を行います。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	平日、休日、長期休みと活動内容に変化を持たせ支援を行っています。	今後もカンファレンスを通し個々の課題について支援を行います。

な 支 援 の 提 供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者のニーズ、子どもの状況によって計画書を作成しています。	日々の子供の状況に応じて個別活動、集団活動に変化を持たせています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の朝礼の際にその日の活動、支援内容を確認、周知しています。	今後も継続を行います。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎時間の関係で終業後の打ち合わせは行っていないも、翌日の朝礼の際には振り返り今後の支援に反映させています。	今後も支援内容、児童の様子をカンファレンス、モニタリングに反映させていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日の記録は行っています。	今後は細かな様子が記録に記載出来るよう行います。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月以内に1度のモニタリングで行っています。	保護者のニーズに沿って計画書を作成しています。具体的な支援内容を設定しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		子供の状況に合わせて活動を組み合わせています。	今後も継続を行います。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も継続を行います。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との情報交換は随時行っている。送迎時のトラブルの際には学校に連絡を行っています。	今後も継続を行い変化があった際には学校との連携を行っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な児童はいませんが、連携医療機関との連携体制は整えています。	連携医療機関がある為、今後も連携を取れるように行います。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		イエローファイルにて情報は共有できています。	今後も継続を行います。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		該当する児童がいないため行えていません。	今後は該当する児童が来た場合には情報は共有していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		子供部会で情報の共有、研修が行われ参加しています。	今後も継続を行います。

	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	交流はありましたが回数が少ないです。	今後は行事等で交流が持てるよう検討いたします。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	研修の案内が来た際には参加しています。	今後も継続を行います。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	送迎の際に保護者と情報を共有しています。	発達の状況、課題があった際には支援に反映できるように対応していきます。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている		○	行っていません。	ペアレントプログラムの支援はありませんが、保護者様へのアドバイス等に関しては送迎の際に行っています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	契約の際の行っています。	今後も継続を行います。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	送迎の際に保護者と情報を共有し必要であれば相談等の支援を行っている。	今後も継続を行います。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	行っていません。	今後は希望者が多くなれば予定検討いたします。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○	迅速に行っています。	ご家族の苦情があった際には記録に残し職員全員が周知出来るよう配慮しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	毎月通信として日々の様子を発行、配布しています。	今後も継続を行います。
	③⑮	個人情報に十分注意している		○	カギがついている書庫に保管しています。	今後も継続を行います。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	言葉で意志を伝えられない児童がおり配慮しています。	送迎の際にご家族様に、ご意見をお伺い出来るようご家族とのコミュニケーションに配慮しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行っていません。	今後は地域との連携を行っていく予定があります。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルがあり定期的に研修を行っています。	緊急時対応については地震を想定した訓練を行っている。今後も継続を行います。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の避難訓練を行っています。	今後も継続を行います。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行っています。	今後も継続を行います。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	前例がありません。	前例がなく今後も行うことはありません。やむを得ない場合については、職員、保護者と協議を行います。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーが強い児童にはかかりつけ医に指示を受けています。	今後も継続を行い変化がある際には密に情報共有を行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを綴り職員が閲覧できるようにしています。	定期的な研修、会議にて案件があれば行うようにし記録にも明記します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。